

平成20年第4回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成20年12月5日
大仙市長 栗林次美

本日、平成20年第4回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、専決処分報告1件、人事案2件、条例案9件、単行案12件、補正予算17件の合計41件となっております。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

なお、この場をお借りいたしまして、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告いたしたいと存じますが、その前に、新聞等で報道されました固定資産税の課税の誤りについてご報告申し上げます。

去る10月20日に、市内に非木造家屋を所有する法人から、評価の根拠となった資料の交付依頼があり、県が評価した非木造家屋の調書と市が算出した固定資産税の評価額について改めて確認したところ、固定資産評価額の算出に誤りがあることが判明いたしました。

ただちに、市内非木造家屋の評価額の再点検を実施したところ、平成10年、11年及び12年中に中仙地域に建設された非木造の建物21棟、10法人と個人5名の方に課税誤りがあり、平成11年度分から19年度分まで、税額にして555万9,300円を多く徴収していたことが判明いたしました。

原因は、職員の理解不足による事務処理のミスとチェック機能の不備によるものであり、市では、11月6日から11日まで各納税者を訪問し、お詫びと事情説明をして、多く納めていただいた税額に還付加算金を加えてお返ししたところであります。

このたびお返ししました納税者をはじめ、市民並びに議員各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に向けチェック態勢を確認し、適正な事務処理に努めるよう指示したところであります。

なお、今回お返しした税額と還付加算金に係る補正予算につきましては、10月30日付けで専決処分させていただいております。

次に、市が単独で実施する緊急経済対策について申し上げます。

世界的な金融不安の影響を受け、我が国の景気が一気に後退し、企業業績の悪化で税収の大幅な減が見込まれております。地方経済においても、これまで

の景気低迷に加え、さらなる厳しさが増しております。これに対処するため、「大仙市中小企業振興融資あっせん制度」を利用した場合に、これまでは設備資金に限り利子補給を行っておりましたが、このたび年末あるいは年度末の資金需要を考慮し、運転資金についても対象とすることといたしました。

利子補給率は年率1.1%、補給期間は借入れ後3年間であり、これによる本年度分の見込額28万5千円の予算の補正及び1,420万円を限度額とした債務負担行為の設定並びに借入枠を拡大するため中小企業融資預託金に1億円を追加する予算の補正を、本日付けでご審議いただき、本制度を1日も早くご利用いただけるよう対応したところであります。

なお、国の「安心実現のための緊急総合対策」につきましては、本市分としての3,000万円を、地方単独事業として秋田自動車道西仙北インターチェンジの料金所データ処理システムの更新及びETC専用インターチェンジに転換するための詳細設計費用並びに昭和56年施工の新耐震基準以前に建築された小中学校施設の耐震診断費用に充てるための実施計画を国に提出したところであり、今次定例会に予算の補正をお願いいたしております。

それでは、各部局ごとの主要事業の進捗状況等についてご報告させていただきます。

はじめに、総務部関係について申し上げます。

平成21年度職員採用試験につきましては、第2次試験の結果、最終合格者を事務職12名、建築・土木職3名の15名といたしました。

また、市立大曲病院の看護師については11月7日に試験を実施し、3名を合格としております。

次に、企画部関係についてであります。

小規模集落コミュニティ対策につきましては、6月に市内の全町内、集落を対象としたアンケート調査及び高齢化率が高い小規模集落等を対象とした戸別調査を実施し、多くの課題を抽出しながら、去る11月17日には、地域協議会委員や有識者などで構成する第1回目の小規模集落コミュニティ対策会議を開催したところであり、次回開催後において中間的な提言をいただくこととし

ております。

中心市街地活性化基本計画策定につきましては、庁内体制を整えるとともに、国の診断助言事業の支援を受けながら、内閣府への協議申し込みに向けた作業を進めており、11月25日には、計画策定時に意見をいただく「中心市街地活性化協議会」の設立総会が開催されたところであります。また、来年1月には、民間からのまちづくりに関する提案事業の公募を予定しているところであります。

総合計画の実施計画の改訂につきましては、事業費の圧縮などにより財政計画との調整を図りつつ、早期にお示しできるよう作業を進めてまいりました。しかしながら、厳しい財政状況により未だ財政計画との溝が埋まらないため、21年度当初予算編成とあわせ、再度、「選択と集中、スクラップアンドビルド」による大胆な見直しを行い、実効性のある向こう5カ年の内容を示してまいりたいと考えております。

地域協議会につきましては、これまで毎年3月に各地域に赴き意見交換をさせていただいておりましたが、さらに来年度予算編成が始まる時期などを考慮し、去る10月27日から11月7日にかけて意見交換をさせていただいたところであります。予算編成に当たりましては、各地域協議会の意見を踏まえ、作業を進めてまいりたいと存じます。

ふるさと納税につきましては、11月末現在、件数で46件、金額で511万3千円の寄附金が寄せられております。なお、東京都在中の方々より200万円、100万円、50万円など高額なご寄付も頂戴しており、ふるさとを思う皆様の気持ちを大切に活用させていただきたいと存じます。

西仙北インターチェンジにつきましては、E T C（自動料金支払いシステム）の機器が未設置などにより利用者に不便をおかけしていることや施設の維持管理費を市が負担しているなどの課題を抱えているところでありますが、平成22年4月を目標に、国が推進しているE T C専用の「スマートインターチェンジ」に転換することで、現在、国土交通省、秋田県及び東日本高速道路株式会社などの関係機関と調整及び作業を進めております。

協和地区にあります2つの第三セクターの統合についてであります。協和地域には、「四季の湯」を経営している「株式会社協和リゾート管理公社」と、

「道の駅」を経営している「株式会社協和振興開発公社」の2つの第三セクターが存在しております。両会社とも経営規模が小さいことなどから、市といたしましては、統合によるスケールメリットを活かした経営展開ができるよう、来年4月1日の会社統合をめざし、両会社の取締役会及び株主総会に諮りながら、準備を進めているところであります。

男女共同参画事業につきましては、「男女共同参画都市宣言1周年記念事業」として、11月16日に中島啓江^{けいこ}氏による講演会を開催し、あわせて、男女共同参画に関する写真・一行詩の入賞者の表彰を行いました。

国際交流につきましては、10月10日から13日まで、大曲中央公民館を主会場に第10回国際アジア民俗学会シンポジウムを開催し、日本を含む東アジアの7カ国から招^{しょうへい}聘した48名の研究者が、「アジアにおける稲作文化」をテーマに研究発表を行ったほか、「郷土文化再発見事業」や「国際理解・協力事業」を開催したところであります。

大仙市・唐津郡^{たんじんぐん}青少年交流につきましては、8月に韓国を訪問する予定で準備を進めておりましたが、竹島問題に関連して受け入れが難しいとの連絡があり、延期していたところであります。その後、唐津郡との協議を重ね受入態勢が整ったとのことから11月13日から17日まで、大曲中学校の2年生・3年生の8名と引率3名が、唐津郡のホソ中学校を訪れ交流してきたところであります。

次に、市民生活部関係についてであります。

防犯対策につきましては、安全・安心まちづくり条例の制定に併せて大曲、神岡、仙北地域において「安全・安心まちづくりアカデミー」を開催いたしました。また、11月14日には「第1回大仙市安全・安心まちづくり推進集会」を開催し、防犯、青少年健全育成などにご尽力いただいた6個人と3団体の表彰と元東京都副知事で警察庁生活安全局長を歴任された竹花豊氏による基調講演を行ったところであります。

防災につきましては、10月15日、16日に「緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練」が本市の雄物川河川緑地運動公園で開催され、8道県の消防本部、防災航空隊、医療機関など95機関、200隊、隊員731名が参

加し、震度6強の直下型地震を想定した各種訓練を実施したところであります。多くの市民の皆様より見学いただき、防災意識の高揚に寄与したものと思っております。

防災ハザードマップにつきましては、震災・土砂災害編と洪水編を一冊にまとめ、10月16日に全世帯に配布し、あわせて、洪水ハザードマップと震災防災マップのポスターを市の公共施設などに掲示いたしております。作成に当たりましたは、広告収入により印刷費を賄うなど工夫を凝らしたものであります。

また、災害協定につきましては、10月6日にイオン大曲ショッピングセンターと日常生活物資等の提供や店舗駐車場を一時避難場所とすることなどを内容とする「災害時生活物資等応援協定」を締結し、11月10日には、東北電力大曲営業所と停電と復旧時間情報の提供、市災害対策本部への社員の派遣、医療機関や市役所、避難所の電力優先復旧や電源車派遣に関する「災害時の協力に関する協定」を締結しております。

なお、11月28日に神岡、南外の両分署と大曲消防署北出張所を統合した大曲消防署西分署が完成し、消防関係者の出席をいただき竣工式を行っており、12月1日から業務を開始しております。

地球温暖化防止につきましては、環境学習事業として実施した環境家族宣言に156世帯の応募があり、3カ月間で二酸化炭素1,026kgの削減を、小学4年生が取り組んだエコチャレンジでは、1週間で1世帯当たり774gの二酸化炭素削減を達成しております。

また、本年度から10月を「NOレジ袋推進月間」と定め、市内4カ所において「NOレジ袋推進キャンペーン」を実施するとともに、テレビCMを活用しレジ袋削減運動を推進しております。

ごみ減量化につきましては、有料化実施後の家庭ごみ排出量が、10月末現在、前年度比で燃やせるごみが1,099t、9.3%の減、燃やせないごみが169t、21.7%の減となっております。

ごみ再資源化につきましては、本年度から新たに春と秋の年2回、発泡スチロールの拠点回収を実施しており、1,140kgを回収しております。

環境基本計画並びに行動計画の策定につきましては、環境審議会でご協議い

ただき、2月中には議会にご報告できるよう作業を進めております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

地域福祉計画、高齢者福祉計画及び障害者福祉計画につきましては、去る10月2日の福祉関係計画審議委員会において、各計画の個別部会で審議された内容について中間報告をいただいております。今後、計画目標や基本的方向、課題解決に向けた重点施策の推進などを年内に取りまとめ、来年2月を目処に、すべての計画についての答申をいただく予定となっております。

平成19年度から2カ年で建設しておりました神岡幼稚園・保育園一体型施設につきましては、すべての工事が完了し、11月1日に「かみおか幼稚園・神岡保育園」合同の開園式を行い、同日から、新園舎において、教育・保育を開始しております。

大曲保育会が実施する大曲乳児保育園の移転改築整備事業につきましては、9月末に工事を発注しており、11月末現在の本体工事の進捗率は32%であり、来年2月中旬には完成し、3月上旬開園の予定と伺っております。

高齢者等除雪サービス事業につきましては、冬期間、自力で除排雪が困難な世帯を対象に、11月末現在、230名から申し込みを受けております。

10月に昨年の自殺者数が公表され、本市では自殺者数が前年に比べ13名減少し、県内では秋田市に次いで減少数が大きくなっているところでありますが、人口10万人当たりの自殺率においては31.8人と、全国平均24.4人を大きく上回っている現状であります。市では、11月15日に秋田大学の本橋医学部長を講師に迎え「大仙市こころといのちを考える集い」を開催したところであり、今後とも自殺予防ネットワーク推進協議会との連携による啓発及び相談活動の充実を図ってまいります。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、10月15日現在の農林水産省統計では、全国の作況指数は「102」のやや良、秋田県は「105」のやや良となっており、県南については、10a当たり616kgで「106」の良と発表されております。

本年産米の管内の買入れ状況につきましては、JA等集荷業者が作成した生

産調整方針への参加者の作付確定面積11,517haに対し、生産確定数量が67,259t、約112万俵となっており、11月19日現在の集荷状況は、926,937俵の集荷目標数量に対し895,800俵余りで、集荷率は96.6%となっております。

先般、平成21年産米の都道府県別生産目標数量が報道されましたが、本県は前年比で7,650tの減と全国最大の削減量となっております。

太田農業振興情報センターの新規就農者研修施設において、若手農業者を対象に募集しておりました冬期農業者研修につきましては、指導員を1名増加し2名体制とするとともに、受講者を1名増加し4名とし11月4日から研修を始めております。

原油高騰による対応策につきましては、冬期農業における生産コストの縮減を図るため、園芸施設で行う省エネルギー対策に県が緊急に助成する事業に対して、市としても通常の助成額6分の1にさらに6分の1を上乗せし、県と同程度の協調助成を行うこととしております。

第131回秋田県種苗交換会につきましては、10月30日から11月5日まで、にかほ市を会場に開催され、出品総数2,375点のうち、大仙市からは177点が出品され、「水稻」部門で農林水産大臣賞と全国農業協同組合中央会長賞を、「ホウレンソウ」部門で全国農業協同組合中央会長賞を受賞するなど、個人・団体合わせて38組が入賞し、本市農業の高い生産技術が評価されたところであります。

秋の稔りフェアにつきましては、10月25、26日の両日、県商工会議所青年部による「あきた^う旨めもの屋台村」などの新企画も加わり、多くの人出でにぎわったところであります。

第1回目の「大仙農業元気賞」につきましては、去る11月20日、市内に居住する若手農業者で、新たな農業に挑戦し、地域のリーダーとして頑張っておられる3名の方々を表彰いたしましたところであります。

出稼ぎ対策につきましては、11月末現在で出稼ぎ者数が287名となっており、市内医療機関での就労前健康診断の受診状況は134件との報告を受けております。

来年3月の高校卒業予定者の就職内定状況につきましては、10月末現在、

ハローワーク大曲管内で、就職希望者422人のうち331人、率にして78.4%となっており、このうち県内への就職希望者は、前年同期より20人少ない261人、うち内定者は184人、内定率は70.5%となっており6.4ポイント増加しております。

10月29日に閉店したジョイフルシティ大曲店の離職者は、大曲店、本部、カルチャーステーション大曲店の合計で186名となり、大仙市、仙北市、美郷町では154名が離職しております。市では、大曲雇用開発協会会員及びイオン関係への求人募集の呼びかけやハローワーク大曲との連携による就職応援セミナーを開催するとともに、関係機関が開催する講習会などに離職者の積極的な参加を促し、一人でも多くの方が再就職できるように支援活動を引き続き実施しているところであります。

技能功労者表彰につきましては、去る11月26日の表彰式において、^{いしく}石工、建築大工、管工事業の3分野から5名の方々を顕彰いたしております。

工業の振興につきましては、今後の企業誘致情報の集約と神岡地区の県の新規工業団地早期実現のための庁内体制として、10月1日から、企業誘致推進本部とその下部組織となるプロジェクトチームを設置したところであります。

なお、県の新規工業団地予定地につきましては、当初10月末頃としていた基本設計案について検討に時間を要するとのことから、今後で開催予定の地元説明会等において案を示す旨の連絡を、県からいただいております。

また、10月17日には、大仙市企業誘致促進議員連盟による岩手県北上市への工場視察、10月21日の名古屋及び11月27日の東京での秋田県との協調による「あきたリッチセミナー」に出席、10月30日には市内製造業の大仙市企業連絡協議会との情報交換等を行ったところであります。

さらに、新たな取り組みとして、11月21日に「秋田県大仙市首都圏企業懇話会」を開催し、市出身者並びに市と関わりの深い首都圏企業の皆様にお集まりいただき、市の近況をお知らせするとともに、企業誘致や業界情報に関する意見交換を行っております。

なお、本年度中に規模拡大事業によって、操業開始となった企業は3社であります。

西仙北温泉「ユメリア」につきましては、去る5月22日付けで、現在の指

定管理者であります西仙北温泉インター株式会社から、指定取消申出書が提出されたことから、新たな指定管理者を全国公募いたしておりましたが、10月の指定管理者選定委員会において、新潟県の「新潟新光電機株式会社」が候補団体として選定されたところであります。今次定例会に、指定に係る議案のご審議をお願いいたしております。

次に、建設部関係についてであります。

道路整備につきましては、市単独事業の道路新設改良事業62路線、地方道路交付金事業4路線、地方特定道路整備事業1路線のうち、51路線について発注し、うち38路線が完了しており、他路線についても順次発注の予定であります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業の建物移転につきましては、大曲中通町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件12戸中6戸の権利者と契約済みであり、現在、残る権利者と交渉中であります。また、借家人補償は3店舗すべての権利者と契約済みであります。

工事関係につきましては、区画道路10号新設工事、延長67.9m及び街区整地工事並びに主要地方道大曲・田沢湖線の布設替え工事を、10月上旬に発注済みであります。

都市再生住宅の建設につきましては、建築主体工事が11月末に完成しておりますが、電気設備工事・機械設備工事については、屋外の配管、配線工事を盛土工事と同時施工しなければならないことと、一部外構設備工事が残っているため、3月まで工期を延長しております。また、周辺整備としての敷地造成工事を11月末に発注しており、この工事の進捗状況を見ながら外構・駐車場工事等を進めてまいります。

大仙市都市計画マスタープランにつきましては、去る11月19日から、地域別構想の設定について、各地域での懇談会を開催し、そこでの意見をふまえた第4回の策定委員会開催に向けて、現在、作業を進めております。

また、大仙市耐震改修促進計画につきましては、去る11月14日の議員全員協議会においてご説明申し上げたところですが、学校については、本年度分の耐震診断を行うため、国土交通省所管の住宅・建築物耐震改修等事業につい

て、11月17日付けで補助金の交付申請を行っております。

まちづくり交付金事業につきましては、大曲駅周辺地区においては、しあわせ公園の実施設計業務が9月末で完了済みであります。また、駅裏6号線道路改良工事につきましては、路体部分の築造を施工中であります。

神岡地域の神宮寺駅前交流広場整備工事及び中央公園整備工事につきましては、進捗率が約95%となっております。

中仙地域の新山5号線の駅東2号橋架け替え工事につきましては、11月上旬に発注済みであり、石持館ノ郷線道路改良工事については、12月中旬に発注の予定であります。また、羽後長野駅舎改築工事は、本年度の完了に向けて施工中であります。

協和地域の公営住宅造成及び外構工事につきましては、11月上旬に発注済みであり、進捗率は約20%となっております。また、駅東線道路整備工事については、11月末に発注済みであります。

公園事業につきましては、仙北ふれあい公園の（仮称）新仙北体育館建設工事を9月下旬に発注済みであり、11月末現在、基礎杭の打ち込み作業を終え、引き続き上部基礎工事を進めており、進捗率は約10%となっております。また、大曲地域の飯田沼つり公園の板柵護岸工事が来年1月上旬に発注の予定であります。

市営住宅整備の関係では、市として初のCM方式による北ノ沢市営住宅建築工事について、建築計画6棟12戸の内、本年度分2棟4戸分が12月中旬に完了の予定であり、来年2月1日から供用開始となる予定であります。また、福見町市営住宅の火災報知器設置工事が11月末に完成しております。

公共下水道事業につきましては、4地区において補助、単独合わせて管渠延長6.4km分を発注済みであります。

農業集落排水事業につきましては、4地区において補助、単独合わせて16件の管路工事、延長4.7kmを発注済みであり、処理施設建設工事については、峰吉川地区において3件を発注しており、全体で約70%の進捗となっております。

なお、大仙市公共事業評価審議委員会を11月7日及び11月28日に開催し、大曲駅前第二地区土地区画整理事業、公共下水道事業大曲処理区、神岡地

域のまちづくり交付金事業及び中仙地域のまちづくり交付金事業についてご審議をいただき、いずれも妥当との評価をいただいたところであります。

次に、国、県関係工事についてであります。

国道13号大曲バイパス4車線化事業につきましては、現玉川橋歩道が9月12日から供用開始されており、昨年11月から進めていた旧玉川橋撤去工事は来年度に完了する予定と、また、神宮寺バイパス事業につきましては、都市計画道路大坪線までの1.9km区間について、平成22年度の供用開始に向けて工事を進めており、協和峰吉川地区において整備を進めている雪崩防止柵設置工事については、本年度中に完了する予定と伺っております。

大曲橋架け替え事業につきましては、橋脚2基の工事を行っており、引き続き用地買収及び物件補償を行う予定と伺っております。

国道105号四ツ屋地区道路改築事業につきましては、延長520mについて用地測量が完了し、引き続き用地買収及び建物補償を行う予定と伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

上水道事業につきましては、配水管改良工事として、福田町、延長386mを10月中旬に、大曲須和町、延長209mを11月上旬に、また、配水管布設工事として、大曲橋架け替えに伴う大曲金谷町、延長211mを10月上旬に、配水管移設工事として大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う大曲中通町、延長74mを11月上旬に、さらに大花町、延長301mを11月中旬に、それぞれ発注しております。

簡易水道事業につきましては、西仙北地域の沢郷地区簡易水道施設整備事業において、取水施設・浄水施設及び第1配水池の完成に伴い、12月1日に沢郷浄水場の通水式を行ったところであります。来年1月からは、一部71戸の給水開始を予定しており、これに伴う条例案のご審議を今次定例会でお願いしております。

刈和野地区簡易水道施設整備事業につきましては、9月下旬に区域拡張配水管布設工事を2件、11月中旬には送水管・配水管布設工事を2件、それぞれ発注済みであります。

中仙地域の入角地区簡易水道施設整備事業につきましては、10月中旬に配水管布設工事と導水管布設及び浄水場・配水池場内整備工事の2件を発注しており、本年度で施設整備事業が完了の予定であります。

次に教育委員会関係についてであります。

学校教育につきましては、11月に入り、平成19、20年度国立教育政策研究所教育課程研究指定の大曲小学校、また、平成20年度文部科学省委託「子どもの健康を育む総合食育推進事業」実践協力校の北神小学校が相次いで授業公開するなど、実践研究の成果を情報発信しております。

大曲小学校では、2カ年の間に子どもたちの話し合い活動が深化し、大きな飛躍を遂げたことが賞賛され、北神小学校では、学校給食を活用した「食」の指導に積極的に取り組んでいる学校として文部科学大臣表彰を受けたところであります。

また、これまでも地域連携で実績のある神宮寺小学校、協和小学校では、本年度から、学校支援地域本部事業により一層地域住民による学校支援ボランティアが活躍し、さらには、大曲高校生徒が大曲小学校を訪問し、児童に英語を教える活動や仙北中学校生徒が大曲工業高校を訪問し、ものづくりや測量を体験するなど、異校種間連携への取り組みも行われたところであります。

市といたしましては、このような成果が見られた取り組み事例を市民の皆様を紹介するとともに、各学校が創意工夫して主体的に特色ある教育活動を展開できるよう、積極的に支援してまいります。

学校規模適正化につきましては、段階的に進めて行く計画としておりますが本年度は第1段階として、平成24年度までに児童数が50人台になるか複式学級が出現する小学校について、該当する神岡地域、西仙北地域、南外地域、太田地域において、市の考え方の説明や地域の皆様の意見を聴くための会議を開催しております。今後は、会議でいただいた意見・要望を取り入れ、特に、不安を感じている通学についての課題の解決などに向け努力してまいりたいと考えております。

生涯学習の推進につきましては、去る9月14日に市民交流将棋大会を、10月4日、5日に子ども囲碁大会と市民囲碁大会を、それぞれ開催しており

ます。

また、西仙北地域においては大仙市将棋連盟西部支部主催の東北将棋大会が行われ、市長杯争奪戦には名人戦、一般、小学生の部に104人が参加、また、東北学生将棋連盟主催の学生大会には東北の6大学から66人が参加し、熱戦が繰り広げられたところであります。

第1回秋田飴売節大会が地元の秋田飴売節保存会や北檜岡地区の方々を中心となって、11月23日に北檜岡公民館で開催され、一般の部に県内外から47人、年少の部に9人が参加し、約350人の観客と一緒に楽しんだところであります。

また、11月29日、30日に大仙市芸術文化協会が主催する作品展示を中心とした大仙市芸術祭が開催されております。

文化財保護につきましては、国指定名勝「池田氏庭園」の特別公開を11月8日、9日に実施し、市民の皆様をはじめ県内外から4,000人の見学者がいました。

次に平成21年度当初予算編成について申し上げます。

平成21年度の本市の財政は、自主財源の根幹をなす市税収入が、景気減速による地域経済の低迷や固定資産評価替え等の影響により減収となる見込みであるほか、地方交付税改革により年々その交付額が減少してきております。

また、財政調整基金の残高が5億円を切るなど、各種基金の大幅な減少により臨時的な財源の活用も困難になってきていることから、一般財源の確保に苦慮しているところであります。

厳しい財政環境下ではありますが、21年度予算は、大仙市総合計画における「市民との協働のまちづくり」を基本とし、重点的な取り組みである子育て環境や教育環境の整備、市民福祉向上のための施策、安全・安心なまちづくり、産業振興・雇用創出のための施策、環境保護などを計画的に推進することを念頭に予算を編成してまいります。

予算編成には3つのキーワードを基本として作業を進めることとし、1つ目として、財源確保が厳しいことから部局主体型予算編成、いわゆる各部局への一般財源配分方式を導入いたします。

2つ目は、TWOスクラップONEビルド、2つの事業を見直して1つの新たな事業を立ち上げるという概念のもと、予算編成に取り組んでまいります。

3つ目は、補助金審査委員会における提言の尊重であります。19年度から2カ年にわたって、外部の委員から180件の市の単独補助金について審査を行っていただきましたが、この提言を尊重して予算編成に反映させることとしております。

平成21年度の財政見通しも依然として厳しい状況にありますが、先例や従来の発想にとらわれることなく事業の必要性や効果を十分に検証し、最小の経費で最大の効果が得られるよう知恵を出した予算編成を行ってまいります。

また、徹底した経費節減のため職員一人ひとりが高いコスト意識を持ち、「行政経営」感覚と市民への説明責任を念頭に思い切った改善を図り、行財政運営の簡素化、効率化に努めてまいりますので、市民並びに議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げまして、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況のご報告とさせていただきます。